

自動ドア顔認証システムの活用について

自動ドア顔認証システムには日頃のさまざまな悩みを解決することが可能です。導入に関するメリットや具体的な活用イメージについてご紹介いたします。

◎自動ドアへの設置例



◎導入に関する3つのメリット

1 省力化

IDの管理作業を削減！
IDカードの発行や、ID/パスワードでの管理が必要ありません。
「IDカードを無くしてしまったので再発行してほしい」などのトラブル処理も発生しないため、セキュリティ性能も向上します。

2 簡単登録

IDの登録作業も簡単！
当日撮影した顔写真がマスターデータとなりますので事前登録する必要がありません。
人の入れ替わりが激しい場合でも登録・更新が簡単です。
またあらかじめ写真が入手可能な場合は、事前登録も可能です。

3 低予算導入

簡単・低コストでスタート！
装置本体で登録設定が行えます。
すぐにスタートできるため初期費用が大幅に削減されます。
特別な設備工事などは一切発生しません。



保育園での活用

園児の自由を確保しつつ、安全性を向上。園児がエントランス付近に近づくとき登録者の顔情報を顔認証システムが識別し、保育スタッフに通知。即座に対応できるため、園児の行動を制限することなく、見守る形での外出防止対応が可能になります。



マンションのサブ出入口

マンションには、鍵の置き忘れや紛失のリスクの解消。集合住宅におけるさまざまな課題を解決し、住まい手の利便性・セキュリティの向上と管理業務の効率化に貢献します。



医療スタッフの業務負担を軽減

顔認証による見守りが医療スタッフの目を補完してくれるので、ほかの業務も熟せるようになったシンプルな運用を実現。顔認証登録も搭載されているカメラの映像からできるので、システム運用における負担がかかりません。



スポーツジムなどの受付の無人化

スポーツジムなど、深夜や早朝に営業を行う施設でも、入館時に顔認証システムを設けることで、スタッフの確保が難しい時間帯での営業も可能にしています。また、受付担当者が目視で確認を行う代わりに、顔認証システムを設置することで、ICカードによる認証を行っていた施設でも、顔認証に切り替えることで他人のカードを使ったなりすましなどによる不正利用を防止できます。



オフィスのセキュリティ

顔認証により、利便性の向上のほか鍵の返却忘れや紛失などのリスクがなくなり、セキュリティの向上にもつながります。

感染症予防

「非接触方式」のため、鍵やICカードが必要ではなくなり、パスワードの設定も不要です。

既存の電気錠、手動ドア、自動ドアにも対応可能

既存の電気錠や自動ドアにも後付けで対応することができます。

手がふさがった状態でも認証可能

顔をカメラに合わせて認証するだけなので、荷物で両手がふさがった人も本人認証が可能です。

マスク着用時でも認証可能

外出時にマスクをして過ごしている場合、マスク着用時でも認証可能です。ただし、マスク着用時は認証率が下がる可能性もあります。

検温機能（オプション）

顔認証システムでは、利用者の顔を認識するとともに、検温も同時に行うことができます。体温に異常がある人が見つければ、施設への立ち入りをお断りするなど迅速に建設的な行動を取ることもできます。



日本自動ドア株式会社

〒165-0031 東京都中野区上鷺宮3-16-5
<https://www.jad.co.jp>

 お問い合わせはこちら

0120-210-984